HP掲載用

ユニット内で陽性者が出た場合の感染対策対応：必要物品・それぞれの対応方法

＊グループホームめぐみの・こもれびの家においての感染防止対策を参考にしております。

|  |  |
| --- | --- |
| **疑わしい熱発者発生** | |
| 1. 初動対策 | 1. 熱発者が出た際には、すぐに個室隔離と感染対策を行う。 2. すぐに始動できるよう物品を揃えておく。   ・キャスター付きの棚等を用意し、アルコールや使用物品を入れておく。  ・個室に入るときに使用する予防衣・キャップ・グローブビニール袋に入れて12セット程度用意しておく。   1. 居室入口はビニールシートでゾーニングする。 |
| 1. 連絡調整 | 1. 当該利用者の主治医へ状態の報告、指示を仰ぐ。 2. 指示あればPCR検査実施。車で搬送する。 3. 車内の注意：   ・運転席と後部座席の間に仕切りシートを設置するのが望ましい。  ・入居者はマスク使用  ・スタッフはN９５マスク使用その上から不織布マスク使用。  ・グローブ・使い捨てガウン・キャップ着用。  ・車内では前後の窓を開けて風通しよくする。   1. 同時にご家族へ連絡。 |
| **陽性の場合：保健所へ連絡。**  **ユニットの中で「陽性者」が出たら、それ以外の人は「濃厚接触者」となる。**  **その中でも熱が出るなど症状のある人は「疑わしい者」となる。** | |
| 1. 連絡調整 | 1. 指揮を執る者、主任・リーダー等はインカムを使用する。（スマホ自体触ることで感染リスクが高まるので） 2. それぞれの事業所にて指揮を執る人を選定。   連絡体制を整理する。 |
| 1. N９５マスクの着用 | 1. 常にN９５マスクを使用。N９５マスクは1人3個用意し、1日ずつ変えて使用。   （ウイルスは3日経ったら死滅するので3日目のものを使用する） |
| 1. ゾーン分け   \*ゾーン分け図は別紙参照（各事業所の構造により検討しておく） | 1. ゾーン分けした際にはグリーンゾーンを消毒と清掃行う。（雑巾禁） 2. 入居者は全て個室対応。陽性者・疑わしい者の居室入口にゾーニングする。 3. 入居者のところに直接持っていくものはその性質により設置場所が変わる。   ＊オムツ類・内服薬等はグリーンゾーンに保管する  ＊点眼薬・水溶液の薬等はレッドゾーンにおいておく。  （モノを移動させることによって、そのモノを介してウイルスが広がっていくので、そのモノによって配置場所を検討） |
| 1. **各ゾーンの個人防護具PPE** | 1. **レッドゾーン：医療用ガウン（袖付き使い捨てガウン）又はポンチョ着用**   **N95マスク・キャップ・フェイスシールド又はゴーグル**  **★１（陽性者・疑わしい者の居室）上記の上から、不織布マスク・使い捨てエプロン・グローブ（疑わしいとは症状がある者）**  **★２（濃厚接触者居室）上記の上から使い捨てエプロン**   1. **グリーンゾーン：不織布マスク又はN95マスク** |
| 1. 食事 | 1. 昼食はお弁当・朝夕は調理する。 2. 食器は全て（飲食・飲水共に）使い捨て食器。 3. 配膳するときは前だけのエプロン使用（90ℓ・70ℓゴミ袋にて作成） 4. 配膳には一人ずつお盆を使用。回収後は必ずお盆の消毒をする。 5. 食事介助時スタッフは立ったままとする。（高低差をつけることで感染予防） 6. 各居室の入り口から声掛けし、水分摂取の促しを行う。 |
| 1. 排泄 | 1. 排泄介助で居室に入るときは④－①★１★２参照。１回ずつ捨てる。 2. 寝たきりおむつ使用者以外、ポータブルトイレ使用。 3. ポータブルトイレ内にやや厚手のごみ袋（４５ℓ）入れ、その内側に薄めのゴミ袋（４５ℓ）入れる。その中にペットシーツを入れておく。排尿２～３回分ごとに内側のごみ袋を捨てる。 4. トイレットペーパー・ティッシュペーパーを各部屋に一個ずつ設置する。 5. オムツ交換時は、イエローゾーンに置いてあるオムツ（個々に必要なだけ）と清拭用シートをビニール袋に入れて持っていく。その袋に入れて回収。 6. 入居者は基本ユニット内のトイレは使用しない。（排泄物からも感染するので）しかし居室から出てきて使用してしまう場合もあるので、その際はすぐにトイレ内を消毒すること。 |
| 1. 清拭 | 1. 入浴できないので週に２～３回清拭にて対応。（入浴すると浴室の掃除が感染対策を講じて行う必要がありかえって危険） 2. 清拭用タオルはフェイスタオルなど使用するが一度使用したらすぐに捨てる。使い捨てシート使用も可。 3. 浴室などでお湯を出してそこでタオルを温めて持って行ってよい。 |
| 1. 衣服の交換・洗濯 | 1. 陽性者・疑わしい者：1回ずつビニール袋に入れて居室内におく。3日経ったら洗濯する。 2. 濃厚接触者：80℃のお湯に10分つけてから洗濯する。 3. 洗濯物は各自の居室に干す。 |
| 1. 口腔ケア | 1. 使い捨て歯ブラシを使用。一回ずつ捨てる。コスト面を考慮しスポンジも併用する（夜だけ歯ブラシにするなど） 2. 口をゆすぐ水のコップと吐き出す使い捨て容器（ペットシーツをちぎって入れておく）を使用する。 |
| 1. 掃除 | 1. 雑巾は使用禁止（ウイルスをばらまく可能性があるため） 2. ユニット内の掃除は1日1回。 3. 掃除の順番はグリーン⇒イエロー⇒レッド 4. クイックルワイパー使用。シートにアルコールを含ませて掃除。 5. 手すりの掃除は頻回にできるように各所（廊下手すりなどに貼り付けておく）に設置。最低1日2回。 6. トイレ内にもアルコールスプレー、シートを設置して、入るごとに手で触れる場所（水を流すレバー・ペーパーホルダー・手すり・ドアノブ・ウオシュレット等）を拭く。（ウイルスが付いた手で触れることで広めてしまう） 7. トイレ入口にグローブを設置（テープで張り付けるなどして）し、すぐに使用できるようにする。 |
| 1. ゴミ類 | 1. ゴミ箱は全て蓋つきを用意する。 2. ごみ捨てのビニール袋は0.4mmのものを使用（重量があるので厚めのもの） 3. 3日経過したものから、収集してくれるので、3日分の保管場所を決めておく。   ・物置、リサイクル物置等（ウイルスは3日経ったら死滅するので3日目のものを捨てることがでる）   1. 食事残渣の、汁物がある場合はザルのバケツに汁気を切って捨てる。 |
| 1. **陽性者・疑いのある者の居室対応** | 1. **ゴミ箱は居室内に設置。（大きなゴミ箱1個・食事残渣用1個）** 2. **居室から出てくる際、ポンチョ・使い捨てエプロン・キャップ・グローブを居室内で脱いでゴミ箱に捨ててくる。手指消毒してから居室から出る。** 3. **出てきたらすぐに手指消毒する。** 4. **居室出た際すぐに装備できるように、テーブル設置し個人防護具を置いておく。** |

＊これを参考に、各事業所の配置図に応じてゾーン分けなどの対策を講じてください。

＊用意しておくデータ：入居者情報一覧表・職員一覧表・感染者及び濃厚接触者健康観察票

（職員リスト、利用者リストを保健所に提出しないと誰に検査をするのかが判断できないので、検査

をするのが遅れてしまう。遅れると、陽性者の発見が遅れ感染対策の遅れにつながる。

そのため速やかに提出できるように準備しておくのがよい。）

＊用意しておく物品：上記マニュアルで使用する物品を必要数（とりあえず4日分は必要）

　　　　　　　　　　例）使い捨てエプロンは9名1ユニットの場合一日200枚は使用

＊日ごろから、かかりつけ医又は主治医と情報共有し、コロナを疑った場合の具体策を講じておく。

**特に気を付けて実践**

* 1. **動作ごとの手洗い又は手指消毒は徹底して行う。**
  2. **個人防護具の着方・脱ぎ方（ガウンテクニック）を各自で学び実践すること。特に脱ぎ方・捨て方に注意！**
  3. **自分で考え自分で行動できるように、確認すること！聞くこと！わかるまで教えてもらうこと！をお互いにしてください。**